

フォト・ルポ

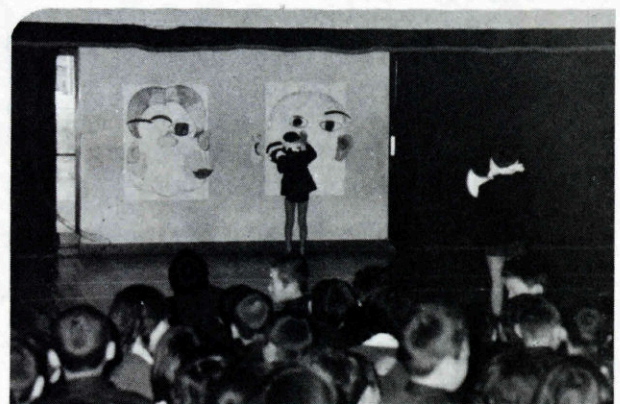
◀ ウーム その手で来たか

1月15日、中央公民館で、新春囲碁将棋大会が開かれた。当日は、朝9時から37人により熱戦がくり広げられ、囲碁Aの部で福田一清さん、Bの部で中村勇二さん、将棋の部では、和田茂さんが、それぞれ全勝で優勝されました。



1月10日、油谷小では、全校児童が集まり、初笑い大会が催された。壁に張られたドラえもんやおたふくの大きな下図に、各学年の代表が目かくしをして、マユ・目・口・鼻などを付けて行きます。後方からはもっと右/左/上/下/など声援が飛び、大笑いの一時です。

▼ もっと右、右



新春恒例の寒げい古が1月19日から24日まで、町内4会場で行われた。保育園児もまじって、寒さにまけない、たくましい体をつくるため、一生懸命練習に汗を流していた。25日行われた武道大会では、剣道低学年で、向津具スポーツ少年団、高学年で油谷剣道スポーツ少年団A、中学の部では、向津具中A、柔道の部では、油谷中がそれぞれ優勝した。

◀ メイン 一本



油谷町の歴史いろいろかるた

お(を)奥山に道を開きし清右衛門



んでいたの、川の中を歩いて対岸に渡って行かなくてはなりませんでした。特に、増水した時などは荷物の運搬は非常に困難であったと思われます。そこで、中島清右衛門は明治一七年、私財を投じて大懸の岩山を削り、平坦な道を開

大坊橋から川をさかのぼっていくと、二の瀬・坂根を経て山や一保温泉へ行かれます。昔から重要な交通路でしたが、大懸の鼻は岩山が急傾斜で川に臨

いたのです。その遺徳を顕彰するため、大懸の県道傍に碑が建てております。油谷町版、青の洞門ということができるとも思います。

く 蔵小田の白魚とりは梁場にて

萩の松本川では、四ツ手網の白魚魚が行われ、早春の風物詩として有名ですが、蔵小田でも毎年二月から三月の早春に梁という仕掛けを川に作って、白魚とりが行われており、何時頃からはじまったものか、今のところ分っておりません。芝罱でも同じような仕掛けで、白魚魚をしております。

